

■ 温室 (植物・バイオマス研究棟内)

温室では、花王製品の原料に使われているアブラヤシやココヤシなどの植物を育て、その生態をより深く知ること、次世代に向けた植物由来原料の研究を行っています。



■ エコテクノロジー リサーチセンター

花王エコラボミュージアムがある「エコテクノロジーリサーチセンター」は、次世代環境技術のための総合研究施設です。研究の中核となる「本棟」、製品のスケールアップ研究を行う「パイロット研究棟」、植物の育成研究などを行う「植物・バイオマス研究棟 (温室)」の3つの研究施設がなります。



汚れを落とす実験



「オンライン見学」を開催

団体様は、オンラインでもご見学いただけます。

実験で楽しく学べる「エコ家事ラボ」

毎日の家事をエコ視点で科学する実験室です。家事のメカニズムを楽しみながら学べる、さまざまな科学実験のプログラムを計画しています。

花王エコラボミュージアム



〒640-8580 和歌山市湊 1334 花王株式会社 和歌山事業場内

このロゴは、「いっしょにエコ」をテーマに、さまざまな人が集う「研究の森」をシンボル化しています。ひとつひとつのモチーフは、森を構成する“木”と、花王製品の主原料である“界面活性剤”を表しています。



<https://www.kao.com/jp/corporate/outline/tour/eco-museum/>

- 開館時間 9:30~16:00
- 休館日 土・日・祝日および会社休日、年末年始
- 入館料 無料
- 見学申込 ご見学には、事前のお申し込みが必要です。詳細については、ホームページをご確認ください。TEL:073-426-1285 (受付時間 9:00~16:30)
- アクセス
 - JR「和歌山」駅よりタクシーで約20分 (関西国際空港よりJR「和歌山」駅までは、リムジンバスで約40分)
 - 南海本線「和歌山市」駅よりタクシーで約10分



関連施設

■ 花王ミュージアム (東京都墨田区)

— 花王の歴史といまを知る —

創業以来、清浄文化や清潔な暮らしの向上に深く関わってきた、花王の歩みをご紹介します。館内には、展示や映像、体験コーナーなどがあり、清浄文化をとおして、「暮らし」の移り変わりや花王製品との関わり、花王の事業活動や最新の取り組みなどをご観いただけます。

- 休館日 土・日・祝日および会社休日、年末年始
- 入館料 無料

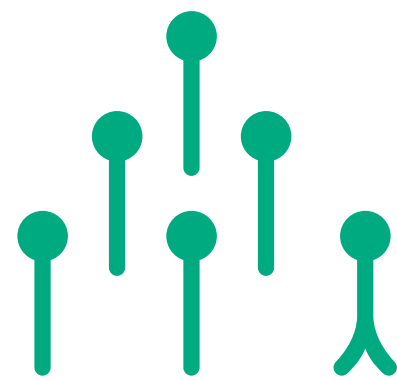


- 見学申込 ご見学には、事前のお申し込みが必要です。詳細については、ホームページをご確認ください。
- TEL 03-5630-9004 (受付時間 9:00~16:00)
- 所在地 〒131-8501 東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会社 すみだ事業場内



ルナジェットで印刷しています。揮発性有機化合物 (VOC) の排出を低減したルナジェットは花王水性インクジェット用顔料インクです。

100%水性インクで印刷された認証を取得しています。



kao
ecolab.
museum

花王エコラボミュージアム



「いっしょにエコ」を知る、体験する

地球環境と花王のエコ技術の情報発信ミュージアム

花王の製品は、ほとんどが毎日の暮らしの中で使うものです。

だから、花王は、環境に配慮したモノづくりをめざして、原材料選びから、ごみに出すまでのすべてをエコロジー視点で考える、「いっしょにエコ」に取り組んでいます。

その一環として、先端のエコ技術を体験していただくために開設したのが、

「花王エコラボミュージアム」です。

アタマ・カラダ・ココロを刺激する展示や映像、体験プログラムによって、地球環境のいまや、花王のエコに触れてみませんか？



いっしょに「地球環境」を考えよう

いま、地球でなにが起きているのか、私たちになにができるのか。「温暖化する地球」「いのちと暮らしを支える水」「生物多様性のもとに」の3つのテーマで、地球環境のいまをご紹介します。



「花王のエコ」をリアルに体験

花王の環境に配慮したモノづくりや、先端のエコ技術をご紹介します。原材料選びから、ごみを出すまでの製品のライフサイクルにおける、さまざまな取り組みを、展示や映像、体験プログラムなどを通じて楽しくお伝えします。

ようこそ、花王エコラボミュージアムへ

「花王エコラボミュージアム」では、地球環境のいまをお伝えするとともに、花王製品のライフサイクルにおける、環境に配慮したモノづくりをご紹介します。

“研究の森”をイメージした空間を巡りながら、毎日の暮らしの中のエコについて考えてみませんか？



● 地球環境を考えよう

地球のいまを知ると見えてくる、暮らしに大切なこと

いま、地球がどうなっているのか、世界中でなにが起きているのかを、「温暖化する地球」「いのちと暮らしを支える水」「生物多様性のもとに」の3つのテーマで、専門家の解説と共にご紹介しています。

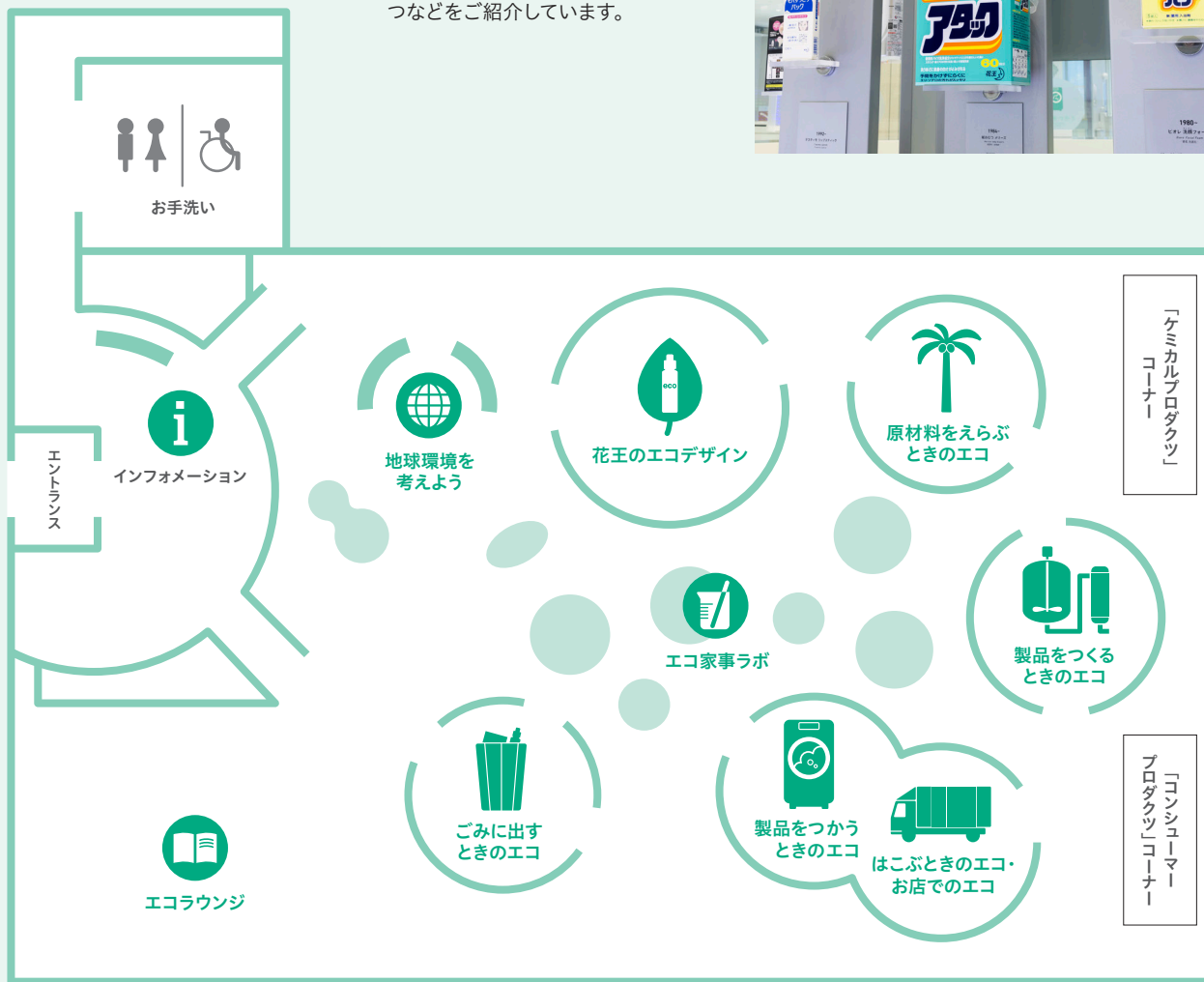
- 温暖化する地球
人類の活動が活発化することで、CO₂排出量が増加し、地球温暖化にも大きな影響を及ぼしています。ここでは、地球温暖化のしくみや将来に向けた動きなどをご紹介します。
- いのちと暮らしを支える水
人と水の関わりや水の役割などについて、ご紹介しています。また、和歌山を流れる紀の川をとおして、和歌山の暮らしと水との関わりなども知ることができます。
- 生物多様性のもとに
生物多様性を、生きもののつながりや自然の恵みなどの視点で表現しています。和歌山の里山を再現したジオラマでは、メダカが泳ぐなど、生命のつながりに触れることができます。



● 花王のエコデザイン

人と地球を見つめてつくる、エコな製品

生活者の視点で、長年にわたって進化し続けてきた花王製品。その歩みや、環境に配慮したモノづくりのひみつなどをご紹介します。



● 原材料をえらぶときのエコ

自然の恵みから生まれる、石けんや洗剤

原材料は、どんな性質を持ち、どこで採れるのか。そんな疑問をバーチャル体験などを通じて、解き明かします。また、ヤシなどの植物由来原料や界面活性剤のはたらき、未来の新しい原材料についての研究も知ることができます。



● 製品をつくるエコ

大切な水や資源を、大切に使うモノづくり

より少ない水やエネルギー、原材料から製品をつくる工夫や、資源の再利用、廃棄物の削減など、生産におけるエコへの取り組みを、最新技術を交えてご紹介しています。



● はこぶときのエコ・お店でのエコ

運ぶときにも、エコな工夫が満載

製品を小さくしたり、積み方を工夫したりすると、一度にたくさんの製品を運べるため、輸送回数が減り、運ぶ時に出るCO₂も削減できます。店頭ディスプレイなどを再現して、運ぶ時やお店でのエコをわかりやすくご紹介しています。



● 製品をつかうときのエコ

毎日の暮らしの中で、いっしょにエコ

家族でエコライフを追求するイメージキャラクター「清野家」の生活を体験しながら、暮らしをエコにするためのポイントを学ぶことができます。毎日の暮らしの中で、水や電気を少しでも減らす工夫を発見してみてください。



● ごみを出すときのエコ

容器からはじまる、ごみの削減

中身を使い終わるとごみになってしまう容器。そのため、花王では、コンパクトな容器にしたり、つめかえ・つけかえ用製品を増やしたりしています。本品に比べ、どれだけごみの量が減らせるのか、実際の容器を使って展示しています。また、リサイクルの紹介もしています。



● ケミカルプロダクツコーナー

エコな社会に貢献する、ケミカルプロダクツ

土木・建築・モビリティなどの社会インフラ、印刷・エレクトロニクスなどの情報材料、食・農業など、生活や社会のさまざまな場面で貢献する環境にやさしい技術を紹介しています。

